

長野県篠ノ井高等学校犀峽校 文化部活動方針

令和2年4月

<p>目標</p>	<p>部活動を通して、豊かな人間性と創造力を高め、様々な体験や活動から得たものを主体的に考え、発信していく姿勢を育む。</p>
<p>運営方針</p>	<p>○学期中は原則として週当たり2日以上以上の休養日を設ける。(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日(以下「週末」という。)は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。</p> <p>○長期休業中の休養日の設定は、原則として、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養や社会体験、学習などの時間を取ることができようように、二週間程度にわたる長期の休養期間を設ける。(大会やイベントなど必要な活動がある場合は除く。)</p> <p>○1日の活動時間は、平日及び学校の休業日(学期中の週末を含む)ともに長くとも2時間程度とし、できるだけ短時間に合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。</p> <p>○考査前一週間は、原則として活動を行わないように配慮する。なお、大会前等の特別な事情がある場合には、校内で承認を得た上で活動することとする。</p>
<p>指導体制の工夫</p>	<p>○専門的な技能や知識を活用し安全に活動するため、地域の文化活動に携わる団体との連携、交流を進めていく。</p> <p>○活動の継続性や安全性に重点を置くことができるようクラブ顧問の複数化を図る。</p> <p>○ボランティア部など対外的なイベントが活動の中心となる場合は、部員以外にも呼びかけ広く取り組める体制をとる。</p>
<p>その他</p>	<p>○同じ活動を行っている地域の文化団体や小中学校の活動と連携し、交流の輪を広める中で、お互いの活動が活性化されるような取組みを工夫する。</p> <p>○活動内容や練習計画は早めに予定表を作成し、生徒の移動や校外での集合場所などに対して保護者の方々の協力が得られる体制を整える。</p> <p>○コンクールなどへの参加も含めた活動内容や頻度を年度当初に生徒ときちんと話し合い、クラブ員のニーズを踏まえた文化部の運営を心掛ける。</p>